

ハマカンゾウ (天神島臨海自然教育園)

天神島

の夏を彩る花々のひとつ、ハマカンゾウ。あたたかい地域の海岸に分布するこの植物は、夏の日差しに映える濃いオレンジ色の花を咲かせます。野原にはえるノカンゾウにもよく



似ていますが、ハマカンゾウは葉が厚く、冬を越すことができるという違いがあります。

夏の明るい昼間にはチョウやハナバチが花に訪れ、花粉を運んでもらい受粉を助けてもらいます。ただし、ハマカンゾウは朝に花を咲かせても夕方にはしぼんでしまう一日花です。ハマカンゾウのなかま(キスゲ属)は、いずれも花の寿命が短いことが知られています。そのかわり、次から次へと花が咲くため、初秋くらいまではハマカンゾウの美しい花を楽しむことができます。

スズメバチのなかま (馬堀自然教育園)

夏から秋にかけて巣が大きくなり、人をおそうこともあるスズメバチ。三浦半島では7種が知られています。馬堀自然教育園ではキイロスズメバチが毎年のように巣をつくり、オオスズメバチやコガタスズメバチも巣をつくる場合があります。

スズメバチとよく似たハチにアシナガバチがいます。スズメバチの方が太く大きな体で、「腰」(矢印)が角ばっています(アシナガバチではゆるやかに曲がります)。馬堀ではキアシナガバチやセグロアシナガバチがよく見られます。



上から、オオスズメバチ、コガタスズメバチ、キイロスズメバチ(全て女王バチ)。

左から、キイロスズメバチとキアシナガバチ(どちらも女王バチ)。



自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属 馬堀自然教育園 / 天神島臨海自然教育園

Vol.8 No. 2
(2015年夏号)

2015年7月31日発行
横須賀市自然・人文博物館
046-824-3688

馬堀のみどころ (8~10月)

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|



ゲンノショウコ (9月)



脱皮直後のクロゴキブリ (10月)



ホテアオイ (8月)



カラカサタケ (9月)



アカボシゴマダラ (8月)



ツワブキ (10月)



ハダカホオズキ (9月)



ジョロウグモとキイロスズメバチ (10月)



ツマグロオオヨコバイ(左)と
アオバハゴロモ(右) (9月)



シモフリスズメ (10月)



ヤマアカガエル (8月)



ツチガキのなかま (9月)

天神島のみどころ (8~10月)

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|



テリハノイバラ (10月)



ハラビロカマキリ (9月)



イチモンジセセリ (8月)



ヒガンバナ (9月)



エビツル (10月)



アオリイカ (10月)



オンブバッタ (9月)



アリグモ♀ (8月)



タイワンガザミ (10月)



ハマカンゾウ (8月)

自然教育園の行事案内

今年度の行事についての詳細はリーフレット等をご覧ください

天神島ツアーガイド

天神島臨海自然教育園では、毎月第4日曜日に園内の自然を案内するツアーガイドを開催しています。周囲の景観やそのときの生物の解説を行っています。参加費は一人50円、時間は4～9月は10:30～11:30、10～3月13:00～14:00です。お気軽にご参加ください。



ハマオモト (後方には笠島)

企画展示「標本いろいろ～しらべる・のこす・みせる～」



展示室のようす

8月30日まで、博物館本館では企画展示「標本いろいろ」を開催しています。ふだんは資料室に保管されている標本を「蔵出し」で展示したり、博物館の標本に関わる様々な仕事を展示したりしています。

自然教育園のできごと

天神島では初めて!?!のウミウシ

「海の宝石」とも呼ばれ、最近人気のウミウシ。

有名なアオウミウシをはじめ、シロウミウシ、ムカデミノウミウシ、キャラメルウミウシなど、天神島ではたくさんのウミウシが観察できます。

4月22日、大潮の後の浜辺には大量の海藻が寄せられ、浅瀬にただよう海藻の間に、白いモノが浮いていました。

調べたところ、それはカスミミノウミウシという、普段は砂地に潜っているウミウシでした。天神島では、漁師が仕掛けた蛸壺(たこつぼ)に入っていた事があったそうですが、浜辺での発見は初記録。海が荒れて浜辺まで運ばれてしまったようです。

長い触角で周りを確認しながら進むさまは、とてもユーモラスでした。



カスミミノウミウシ

天神島にカツオノエボシとルリガイが漂着

7月1日、南口近くの砂浜に漂着したカツオノエボシ26個体が見られました。長い触手のほとんどがちぎれていましたが、ふうせんのような浮き袋(気のう)は、青く透明できれいでした。

カツオノエボシの周辺では、ルリガイ2個体が見られました。この貝は海面に浮かんで生活し、カツオノエボシを捕食しているため、今回のように一緒に漂着することが多いようです。



カツオノエボシ



ルリガイ

いずれも沖をただよって生活しているため、天神島では時化(しけ)の後にしか出会えない、めずらしい訪問者です。

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館(本館): 横須賀市深田台95 電話046(824)3688 Fax.046(824)3658

天神島臨海自然教育園・ビジターセンター: 横須賀市佐島3-7-2 電話(Fax.)046(856)0717

馬堀自然教育園: 横須賀市馬堀町4-10-3 電話(Fax.)046(841)5727

◎博物館や教育園の情報は下記ホームページでもご覧いただけます
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>